2019年度NPO法人愛実の会事業計画　法人概況

1．実施事業の概略

特定非営利活動法人愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しつつより良いサポートを目指している。

そのために下記のような事業を行い、実施する。

① 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業。

② 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業。

③ 障害者総合支援法の範囲で対応することが困難なケースとして、利用者の生活上必要なニーズ及び緊急時に対応する為の有料サービスとしての法人独自サービス事業。

2．2019年度法人活動方針

① 経営主体の充実を図りつつ、理事会及び定例会にて将来のビジョンを明確にしていく。

② メンバーの将来への課題及び地域とのつながりの拠点となることを模索していく。

③ 働き方改革を推進し、共に働き安い職場環境の構築を目指す。

④ 認定NPO法人として情報の公開及び支援の輪を広げていくために法人のホームペー ジを充実させていく。

⑤ 介護職員のスキルアップを目的として、外部への研修参加を奨励していく。

3．事業の実施に関する事項

①特定非営利活動に係る事業

（1）生活介護事業について

契約メンバー数30名（2019年4月1日現在）

2つの部署（大地の家16名・紙風船14名）のメンバーが安心できる寄り添う場所として、環境及びアシスタントとの信頼関係に配慮し、それぞれの特徴を充分に生かしながら充実した活動を行っていく。

また、地域との関わりや社会参加を大切にしながらイベントを企画開催していく。

（2）居宅介護及び移動支援事業について

メンバー、家族の高齢化重度化への対応として喀痰吸引等医療的ケアの体制を整え、相談支援事業所及び他事業所と連携し、支援の輪を広げながらメンバーの地域生活を支えていく。

（3）独自サービス事業について

緊急時の対応、その他必要なニーズに柔軟に対応できるよう努めていく。

②アシスタント体制について

●アシスタント総数37名（2019年5月1日現在）

○正職員アシスタント15名：生活支援員10名、管理者1名、サービス管理責任者1名、調理員1名、サービス提供責任者1名、休職者1名

○嘱託アシスタント2名：生活支援員 1名、居宅介護管理者1名

○パートアシスタント1名：生活支援員1名

○アルバイトアシスタント19名：生活支援員8名、看護師1名、送迎運転手4名、清掃員1名、調理員3名、リトミック講師2名

○嘱託医1名

③研修について

●法人全体研修会　4月28日（日）　場所；障がい者デイセンター愛実

○福祉施設における働き方改革の取り組みとより良い施設づくりに向けて』

講師;株式会社経営志援　志賀弘幸氏
〇理念についてのワークショップ　　理事長　島しづ子
〇講演と質疑応答

④　福利厚生について
●健康診断、インフルエンザ予防接種助成、セルフケア助成、腰痛ベルト購入助成
●正職員アシスタントに対する福利厚生センター（ソウェルクラブ）への加入継続。

⑤　実習生・見学等の受け入れについて
●各部署の受け入れ態勢に応じて対応していく。見学者については出来る限り受け入れて行く。

⑥　ボランティア等の受け入れについて
●ホールイベント、紙風船サークル・交流会、その他のイベント等について受け入れを行いたい

4. 会議の開催に関する事項

①総会
●定期総会　5月18日（土）　決算及び予算　法人・各部署の事業報告および事業計画

②理事会
●四半期開催を予定する

③定例会
●随時開催（昨年度は1回のみ開催）これからのビジョンについて語り合う場としたい

④その他の会議
●運営会議(毎月第1・3火曜)、シフト会議(毎月末:シフト調整)、各部門別＆ケース会議、防災会議(随時)
※分かち合いを各会議に意識して取り入れ、お互いの理解を深めていきたい

5. 寄付等について

●寄付金の目標額380万　（寄付360万　夢づくり20万）
（内訳:アシスタント体制の充実、紙風船人形劇の製作等として使用）
※認定NPO基準PST＝年3,000円以上の寄付者を今後増やしていきたい

6. 法人正会員の状況

●2019年4月1日現在45名
（内訳:メンバー家族23名・アシスタント18名・協力者2名・理事2名）

7. 会計の状況

利用者減少による赤字傾向から収益増へつながる1年としたい。
予算統制を行いつつ、経営ビジョンを明確にしていく。

2019年度 NPO法人愛実の会大地の家事業計画

計画概要

事業期間	2019.4.1-2020.3.31	
当事業年度 テーマ	メンバーの思い、気持ちを汲み取り、寄り添えるような関係作りを目指す。 そのために、ただ横に寄り添うだけではなく、メンバーの視線に立ち、メンバーにとって何が必要であるかを模索していく。 アシスタントの思いが優先されるデイケアではなく、メンバーにとってのデイケアを念頭に、メンバーとのかかわりを大切にしていきたい。 「季節感」を重点的に捉え、季節の行事や日常の活動に季節を感じられるような取り組みを計画しつつ、外での活動も行っていく。	
年間外出計画	月次	具体的内容
	4	花見＠荒子川公園
	5	花フェスタ記念公園バラ祭り花見＠可児
	6	デンパーク＠安城
	7	各務原航空宇宙科学博物館
	9	アクアトトぎふ
	10	陶芸体験（行先調整中）
	11	動物とふれあい体験（行先調整中）
	10-11？	遠足（観光バスにて、長野または伊勢志摩方面で検討中）
	12	紅葉狩り＠東山植物園
	2	掛川花鳥園＠掛川
	3	徳川園ひなまつり＠東区
	6.7.9.10. 11.12.3	イエローレシートキャンペーン（イオンモール名古屋茶屋にて）
月次活動計画	目安	具体的内容
	月数回	音楽活動（ミュージックケア、アシスタント企画）
	月2回	リトミック（外部から講師を招いて音楽活動に取り組んでいく）
	月1回火曜	茂吉さんのプログラム（講師による口唇刺激等の実施）
	毎月11日	イエローレシートキャンペーン（平日にイオンモール名古屋茶屋にて）
	月1回	その月に誕生日を迎える人のお祝いをする
	月1～2回	季節の食材を使ったお菓子作り
	月2回	壁画作り（各月ごとにテーマを決め、季節やイベントなどの壁画作成）
季節毎の 活動計画	月次	具体的内容
	4	イースター
	5	端午の節句、母の日
	6	父の日
	7	七夕、暑中見舞い
	8	流しそうめん、スイカ割り

季節毎の活動計画	9	十五夜
	10	ハロウィン
	11	文化の秋
	12	クリスマス会、車椅子掃除
	1	鏡開き、書初め
	2	節分、バレンタインデー
	3	ひな祭り、ホワイトデー

日常の活動計画

昨年度に引き続き、メンバーに寄り添い、メンバーの思いや、メンバーとの関わりを大切にしていく一年にしていきたい。

集団実践を基本としながらも、個々のメンバーに合う大地の家を目指すために、メンバーに向き合い、メンバーの目線に立てるようにしていく。
メンバーの表情や変化を見逃さないよう、ただ隣りにいるだけではなく、メンバーの目線に立ち、メンバーにとって何が必要であるかを模索していく。
メンバー個々の姿・状態を把握し、共感し、集団との関係性を常に意識していく。

また、昨年度の課題でもあったメンバーが主体的に参加できる活動を引き続き追求していきたい。
どんなにメンバーの障害が重くとも、主体性を持っていることを決して忘れず、疎かにせず、大切にしていく。
本人の主体性を大切にしていれば、それが能動性に繋がっていくと考える。

そして、職員集団としての検証を重ねていく。
アシスタントそれぞれが感じたことを言葉にし、話し合い伝え合い、アシスタント間で検証と共感を日常的に行えるようにしたい。
失敗を重ねながら、より良い方向へと歩んでいけるようにしたい。

また、今年度もアシスタント個々の力を高めるため、部門別会議等の時間を使って日常の実践や障がい者支援に関するガイドライン等についての認識を深める取り組みを行いたい。

メンバー、アシスタント共に信頼し合い、思いやりを持った大地の家になっていけるように取り組んでいきたい。

その他

		月	火	水	木	金	土	計
人員配置（2019.4現在）	メンバー	10名	11名	7名	8名	8名	8名	52名
	アシスタント	9名	10名	6名	7名	7名	7名	46名
アシスタントに関して	2019.4より女性パート職員、アルバイトに転向（勤務日数減少のため）							
メンバーに関して	2019.4より女性新メンバー通所開始（3日/週） 2019.3末にて男性メンバー1名退所（3日/週、他事業所利用開始） 2019.5中旬男性メンバー1名退所（3日/週、入所施設利用開始）							

2019年度　NPO法人愛実の会　紙風船　事業計画

計画概要

事業期間	2019.4～2020..3.31		
当事業年度 テーマ	①楽しく元気に出かけよう　②ふれあいつながり大切に　③心からの笑顔を広げよう		
	・今年度の紙風船のテーマは仲間の会で話し合い継続になりました。 ・今年度からの活動の取り組み方について、活動の中や仲間の会、おばら先生も含め話し合いました。メンバーそれぞれがやりたい事に力を入れ役割り分担していく方向性になりました。 ・人形劇：技術の向上、新作制作、YouTubeを使い人形劇を広げていく。 ・宣伝活動：SNSの充実や方法の改善をしていく。 ・グッズ活動：グッズ制作、新作検討(実用性)制作、販売できる機会、場所を広げていく。		
人形劇 活動計画		内容	
	人形劇講座	人形技術家おばらしげる先生による演技指導、人形劇講座等　月1実施	
	人形劇練習	ボーちゃんシリーズの新作、また新しい劇を製作。	
	ボランティア	福祉施設、児童施設への慰問公演や招待公演を開催していく	
人形劇公演予定	予定月日	内容	
	5月11日(土)	文化交流の杜　大府図書館公演	
	7月2日(火)	農村伝道神学校神学科同窓会公演　紙風船にて	
	7月25日(木)	名古屋市守山区　緑寿荘公演	
	9月29日(土)	堀川伝道所51周年イベント公演　紙風船にて	
	その他	相談中	
	4月～7月中	柳城大学付属豊田幼稚園　2公演	
	月は未定	児童養護施設	
その他の 活動計画	実施予定月	内容	
	参加可能月	毎月11日　イエローレシート呼びかけ　大高イオン参加	
	4月	2,3,4,6各日に白鳥、道徳各公園にてお花見	
	6月、11月	ご家族様への活動報告会予定	
	レク	決行月　行先	
	6/12(水)　ミツカンミュージアム	7/18(木)　INAXミュージアム	9月　浜松楽器博物館
	10月　あいち航空ミュージアム	11月　浜松楽器博物館	2月　イチゴ狩り
	3月　フライトオブドリームス		

活動計画	宣伝活動	SNS,応援クラブの情報発信の充実。パンフレット、チラシ、名刺制作。 電話かけ、各イベント、施設へ訪問宣伝をしていく。
	グッズ活動	SNSアプリを使い販売。実用的な新作検討、制作をする。 公演先のグッズ販売だけでなく、売れる場所を広げる。
	夢づくり活動	日中活動の充実。表現練習、発声練習、川柳を行っていく。 また、公演プログラム、前座を考えキャパを広げていく。
	レク	メンバーの希望を募り、1人2回の参加で年に6回を計画し実施。 梅雨、真夏、真冬はできるだけ避けていきます。(給料対象外)
	体力づくり	日頃の活動の充実。人形劇を元気に演じる為、健康維持を目的。 近隣の公園で車イスの自走、体操。室内バスケやホッケーを実施。
	身体のケア	日頃の活動の充実。人形劇を元気に演じる為、健康維持を目的。 介護予防体操、体幹ストレッチ、マッサージ、足湯など実施。
	サークル活動	各曜日サークルに分かれ、それぞれの取り組みたい事を行っています。 (給料対象外)
	仲間の会	月に1回実施。公演予定確認、各活動報告。時にはメンバー アシスタントを交えテーマを決めての話し合いも行います。
	夢づくり基金	目的を明確にして随時呼びかけをしていく。法人会報にも掲載。 人形、小道具の修理。新作の制作費として使用していきます。
	イエローレシート	呼びかけは1団体1時間、5人までは今年度も継続。 頂いた募金は人形劇、紙風船の活動で必要な物を購入していく。
	その他	イベントやレクなど、無理のないよう計画をしていきます。

人員配置

	月	火	水	木	金	土	計
メンバー	2～3	7	9	8	7	9～10	42～44
アシスタント	2	5～6	6	6	4～5	5～8	28～33

その他	メンバー給料:1日150円
	今年度より活動の取り組み方、人形劇の関わり方が変わっていく事や各係の活動も役割り分担になって行くため、それぞれに負担のないようみんなで声を掛け合い、楽しい活動や人形劇を作っていきます。

2019年度　居宅介護事業所あみ事業計画

●目標

・当法人の生活介護事業所（障がい者デイセンター愛実）に通所しているメンバーへのサポートを中心に居宅介護サービスの需要を広げていく。

・安心できる地域生活への課題に取り組むため、相談事業所及び他事業所との連携を密にしていく。

・医療的ケアの必要性から、喀痰吸引等登録事業所として5月からサービスを開始する。

・メンバーの地域生活をサポートしていく形態を模索していく。

● サービス提供内容

朝のケア、日中のケア・夕のケア・入浴介助、通院や余暇支援のための外出支援等

① 居宅介護事業：身体介護（基本計画3時間以内）・家事援助・通院等介助

② 重度訪問介護事業：重度訪問介護（基本計画3時間以上）・加算移動（外出支援＝ｶﾞｲﾄﾞﾍﾙﾊﾟｰ）

③ 地域生活支援事業：移動支援　（外出支援＝ｶﾞｲﾄﾞﾍﾙﾊﾟｰ）

●人的体制

生活介護との協力体制を確立し、更に登録ヘルパーの介護スタッフを募集し支援体制の強化を目指す。

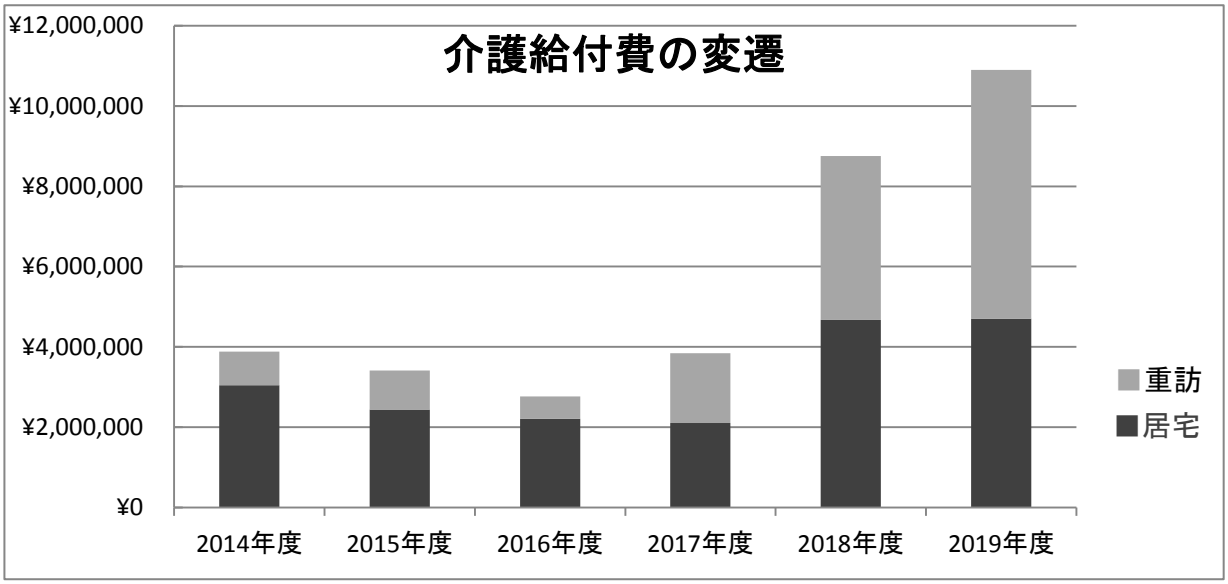
●相談体制

・月1回の居宅会議を開催し、運営会にて情報の共有を図る。メンバーの地域生活全般を支援していく事から協力及び連携を密にしていく。

・相談支援事業所からの基本計画に基づき、その都度利用者・家族の意向に寄り添いながら、介護計画を作成または見直しを行い、サービスの提供を行っていく。

介護給付費の変遷（2014年度-2019年度）

	居宅介護	重度訪問介護	移動支援	合計	前年度比
2014年度	¥3,046,667	¥833,270	¥0	¥3,879,937	
2015年度	¥2,437,491	¥978,129	¥0	¥3,415,620	¥-464,317
2016年度	¥2,205,015	¥558,385	¥0	¥2,763,400	¥-652,220
2017年度	¥2,107,789	¥1,732,404	¥0	¥3,840,193	¥1,076,793
2018年度	¥4,668,670	¥4,081,380	¥69,000	¥8,750,050	¥4,909,857
2019年度	¥4,700,000	¥6,200,000	¥100,000	¥10,900,000	¥2,149,950



2019年度 NPO法人愛実の会管理部門事業計画

●給食管理(小久保)

事業方針	事業内容
○ 保健指導、衛生管理マニュアルに基づく調理を行う	○ 季節を考慮した食材の発注、献立の作成
○ 汁物の塩分・食事の温度管理・栄養等「健康な食事」を提供する	○ 調理員の検便、食中毒発生防止、感染予防
	○ 食物アレルギー・嚥下障害に関する配慮

●車両管理(竹内)

事業方針	事業内容
○ 安全に車両が運行できるよう、故障等を起こす前に整備・点検を行う	○ ドライバーによる洗車、車内清掃を随時実施
	○ 6か月ごとのオイル交換の実施
	○ 車検や点検を(株)メカノスに依頼、修理も同様
	○ (株)メカノスにて、12か月点検と同時にリフトの清掃・点検も実施

●防火防災管理(佐藤)

事業方針	事業内容
○ 防災訓練の実施	○ 災害発生時に真栄マンション自治会と協力し合える体制作りを行う
○ 火災予防上の自主点検実施	○ 日常から心がけるとのできる事柄を取り入れた訓練をメンバーを交えて行いたい
	○ 地震、津波、火災など複合的な防災訓練の実施を検討したい

●会報担当(小久保)

事業方針	事業内容
○ 見やすい会報作り	○ 年3回の会報発刊(7月11月3月)。校正を決め、各担当への原稿依頼
	○ 全体の編集・校正確認、入稿、発送準備
	○ 会報を通して「愛実の会」への理解を深めていき、寄付者を募っていく。 そのために既存の会報の形の捉われず、活動のテーマや目的などをわかりやすくしていく。

●HP担当(戸田)

事業方針	事業内容
○ ホームページ全体のリニューアル	○ ワードプレスを使い、宣伝および情報発信
	○ SNSとリンクし、最新の様子を公開
	○ 内容については各部署より意見協力が必要